

平成 26 年度
埼玉県産業廃棄物実態調査報告書
概要版
(平成 25 年度実績)

平成 27 年 3 月



埼 玉 県

目 次

	頁
第 1 章 調査の概要	1
第 1 節 調査の目的	1
第 2 節 調査方法の概略	1
第 3 節 調査の方法及び内容	1
第 4 節 標本抽出・回収結果	1
第 2 章 調査結果の概要	2
第 3 章 産業廃棄物の発生・処理状況調査結果	3
第 1 節 産業廃棄物の発生状況	4
第 2 節 産業廃棄物の処理状況	9
第 3 節 産業廃棄物の中間処理状況	15
第 4 節 産業廃棄物の再資源化状況	16
第 5 節 産業廃棄物の最終処分状況	18
第 6 節 産業廃棄物の移動状況	19
参考資料 1 調査対象廃棄物の区分	20
参考資料 2 県内の地域区分	20
参考資料 3 埼玉県における廃棄物の発生量の考え方	21
参考資料 4 産業廃棄物の発生及び処理フロー	22
参考資料 5 業種別・種類別の総発生量	23
参考資料 6 種類別の発生量及び処理量	24
参考資料 7 業種別の発生量及び処理量	26

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的

本調査は、第8次埼玉県廃棄物処理基本計画の作成に必要な各種基礎資料を得ることを目的とした。

第2節 調査方法の概略

調査は、産業廃棄物の排出事業者を対象とした郵送によるアンケート調査と県保有の既存資料により、産業廃棄物の発生及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の発生量に関連した指標（製造品出荷額等）を基に、県内の産業廃棄物の発生量等を推定した。

第3節 調査の方法及び内容

1) 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び同法施行令に定める産業廃棄物とした。（参考資料1参照）

2) 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（平成25年10月改定 総務省）に記載された分類を基本に、農林業、漁業、鉱業、建設業、製造業、水道業、情報通信業、運輸業、卸・小売業、物品賃貸業、学術研究、技術サービス業、飲食業、生活関連サービス業、医療、サービス業（他に分類されないもの）とした。

第4節 標本抽出・回収結果

埼玉県内に所存する総事業所266,409件（平成24年事業所・企業統計調査報告）のうち、調査対象業種及び地域特性等を考慮し、11,555件を抽出し、アンケート調査を実施した。

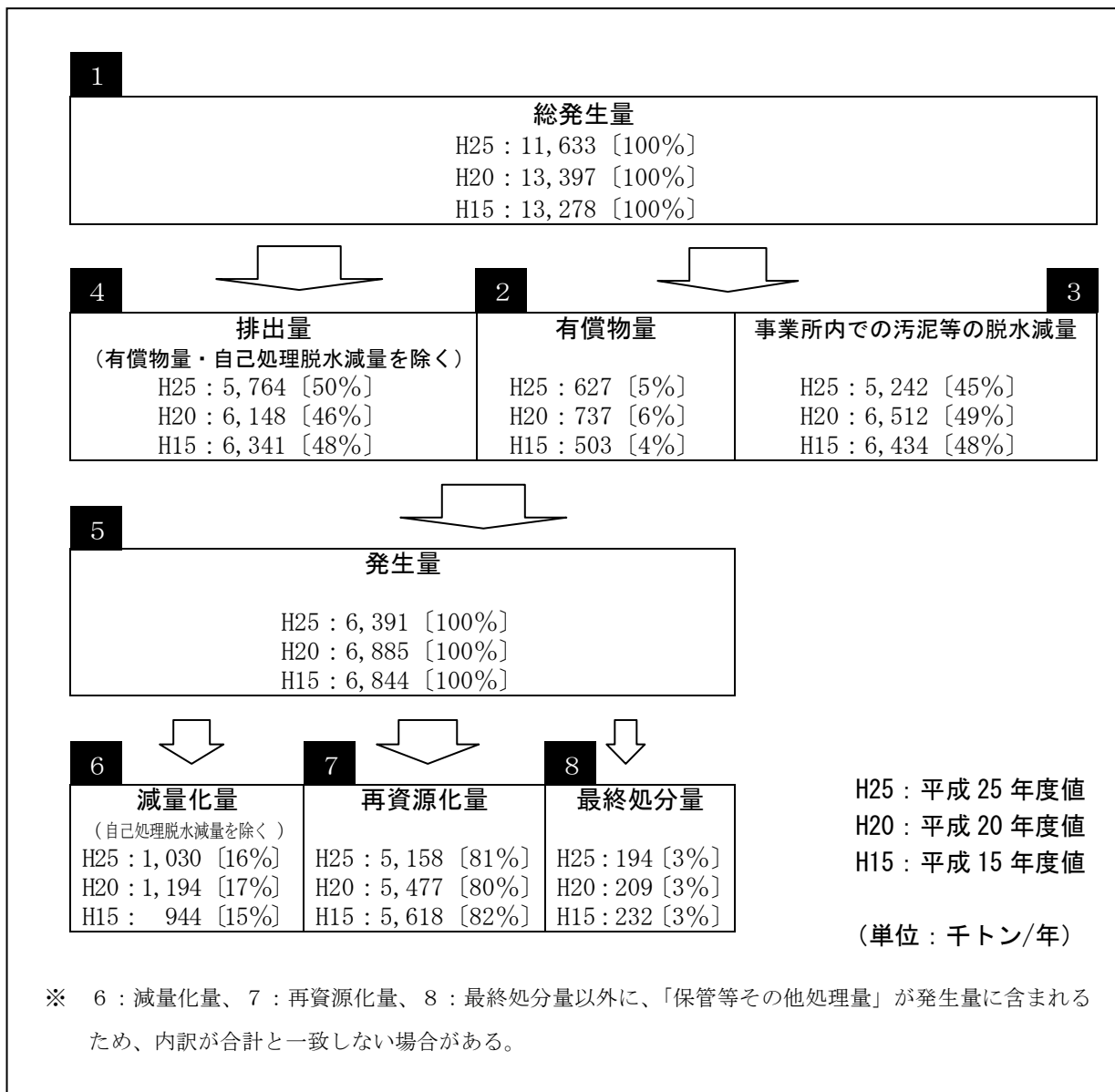
回収された調査票は4,443件（回収率39.5%）である。このうち、廃業及び休業（建設業においては、元請工事がない場合）している事業所の調査票等を除いた有効調査票は3,802件である。なお、さいたま市内に所在する事業所については、さいたま市でアンケート票の発送・回収・集計を実施した。

標 本 抽 出・回 収 結 果	
○県内の総事業所数	: 266,409 事業所
○調査対象総事業所数	: 182,333 事業所
○アンケート送付事業所数	: 11,555 事業所
（内 未着数：相手方不明等）	: (303 事業所)
○アンケート送付事業所回答数	: 4,443 事業所
○アンケート送付事業所回収率	: 39.5%
○アンケート送付有効回答数	: 3,802 事業所
○廃棄物量の捕捉率	: 76.5%

第2章 調査結果の概要

平成25年度の1年間に県内で発生した産業廃棄物の総発生量は11,633千トンとなっている。排出事業所内での有償等による資源化(627千トン)及び汚泥等の脱水減量(5,242千トン)による排出抑制により、排出量は総発生量の50%、5,764千トンとなった。

再資源化量は5,158千トンとなっており、発生量に対する再資源化率は81%で、焼却等の中間処理による減量化量は1,030千トン(16%)、最終処分量は194千トン(3%)であった。



本県における産業廃棄物の発生及び処理量の過去からの推移を整理すると、以下のとおりである。

① 総発生量の減少（断面1の減少）

総発生量は、平成20年度と比較して排出量の多い建設業、製造業及び水道業で減少したため、全業種合計で約13%減少した。

② 排出量の減少（断面4の減少）

総発生量の減少に伴い、排出量も減少した。また、有償物量も減少している。しかし、事業所内での汚泥等の脱水減量の占める比率が減少しており、総発生量に対する排出量の割合は、平成20年度と比較して3.6ポイント増加した。

③ 減量化量（事業所内での汚泥等の脱水減量を除く）の減少（断面6の減少）

発生量に対する再資源化量の割合は平成20年度と比較して1.2ポイント増加した。これに対して、減量化量の割合は1.2ポイント減少した。

④ 最終処分量（事業所内での汚泥等の脱水減量を除く）の減少（断面8の減少）

総排出量の抑制や再資源化率の向上により、最終処分量は平成20年度と比較して減少した。しかし、総発生量に対する最終処分量の割合は平成20年度と比較して0.1ポイント増加した。

表1 産業廃棄物の排出・処理量の推移

(単位：千t/年)

		平成15年度	平成20年度	平成25年度
事業所内での汚泥等の脱水減量を含む	総発生量 ①	13,278 (100%)	13,397 (100%)	11,633 (100%)
	有償物量 ②	503 (3.8%)	737 (5.5%)	627 (5.4%)
	総排出量 a	12,775 (96.2%)	12,660 (94.5%)	11,006 (94.6%)
	再生利用量 b	5,115 (38.5%)	4,740 (35.4%)	4,531 (39.0%)
	再資源化量 ⑦=②+b	5,618 (42.3%)	5,477 (40.9%)	5,158 (44.3%)
	総減量化量 ⑩	7,428 (55.9%)	7,706 (57.5%)	6,272 (53.9%)
	(うち事業所内汚泥等脱水減量) ③	6,434 (48.5%)	6,512 (48.6%)	5,242 (45.1%)
	保管等その他処理量 ⑨	0 (0.0%)	6 (0.0%)	9 (0.1%)
	最終処分量 ⑧	232 (1.7%)	209 (1.6%)	194 (1.7%)
事業所内での汚泥等の脱水減量を除く	排出量 ④=a-③	6,341 (47.8%)	6,148 (45.9%)	5,764 (49.5%)
	発生量 ⑤=②+④	6,844 <100.0%>	6,885 <100.0%>	6,391 <100.0%>
	再資源化量 ⑦=②+b	5,618 <82.1%>	5,477 <79.5%>	5,158 <80.7%>
	減量化量 ⑥=⑩-③	994 <14.5%>	1,194 <17.3%>	1,030 <16.1%>
	最終処分量 ⑧	232 <3.4%>	209 <3.0%>	194 <3.0%>

※1 ()内は総発生量に占める割合を示す

※2 <>内は発生量に占める割合を示す

第3章 産業廃棄物の発生・処理状況調査結果

第1節 産業廃棄物の発生状況

1) 産業廃棄物の総発生量

平成25年度における産業廃棄物の総発生量は、11,633千トンとなっており、水道業が4,536千トン(39%)で最も多く、次いで、建設業が3,021千トン(26%)、以下、製造業が2,689千トン(23%)、農林漁業が764千トン(7%)、鉱業が423千トン(4%)となった。

種類別にみると、汚泥が6,775千トン(58%)で最も多く、次いで、がれき類が1,709千トン(15%)、以下、動物のふん尿が764千トン(7%)、金属くずが463千トン(4%)等となっていた。

平成20年度からの推移をみると、主要な業種ではすべて減少となっていた。種類別にみると、金属くずは増加、汚泥、がれき類及び動物のふん尿は減少となった。

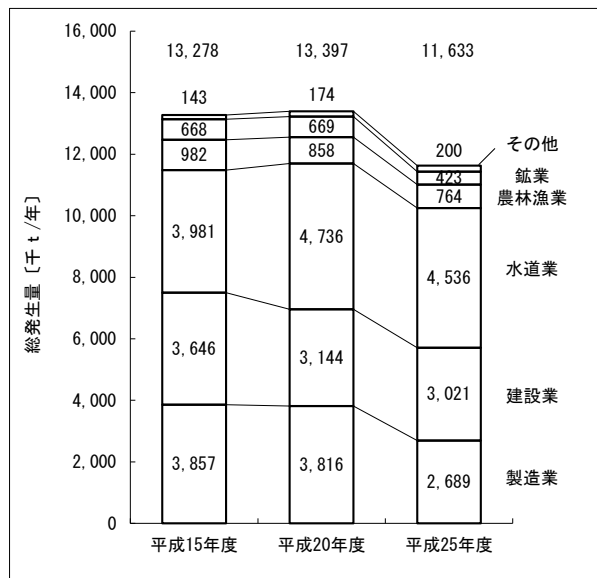


図1 業種別の総発生量

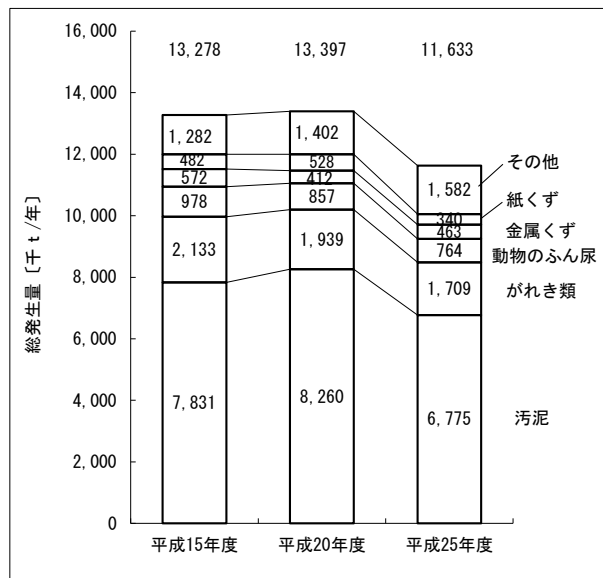


図2 種類別の総発生量

表2 業種別・種類別の総発生量（平成25年度）

(単位：千t/年)

業種 種類	合計	A	B	C	D	E	F	G	H	I	K	L	M	N	P	R
		農 林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業	卸 ・ 小 売 業	物 品 賃 貸 業	技 術 サ ー ビ ス 業	学 術 研 究	飲 食 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	医 療
合計	11,633 (100%)	764 (7%)		423 (4%)	3,021 (26%)	2,689 (23%)	4,536 (39%)	0 (0%)	26 (0%)	69 (1%)	3 (0%)	9 (0%)	27 (0%)	9 (0%)	39 (0%)	19 (0%)
燃え殻	6 (0%)				1	4	2		0	0						0
汚泥	6,775 (58%)	0		418	718	1,094	4,521		3	3	0	0	7	8	1	1
廃油	146 (1%)			1	39	75	0		1	10	0	4	12	0	0	3
廃酸	25 (0%)				0	23	0			1		0			1	
廃アルカリ	29 (0%)				0	25	0		0	1		0			1	
廃プラスチック類	322 (3%)	0		2	44	217	0	0	13	21	1	2	6	2	6	8
紙くず	340 (3%)				11	329		0		0			0			
木くず	227 (2%)	0			177	43			4	3	1	0				0
繊維くず	5 (0%)				5	1										
動植物性残さ	127 (1%)				0	127										
動物系固形不棄物																
ゴムくず	2 (0%)			0		2				0						
金属くず	463 (4%)	0		0	47	393	0		5	11	0	1	0	0	1	3
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	298 (3%)	0		0	163	125	0	0	0	6	0	0	0		2	1
鉱さい	154 (1%)				0	153	0			0						
がれき類	1,709 (15%)			1	1,679	15	13		0	1		1			0	
ばいじん	35 (0%)					35										
コンクリート固化物																
動物のふん尿	764 (7%)	764				0										
動物の死体																
混合廃棄物等	205 (2%)	0			138	27	0		0	11	0	1	0	1	28	

2) 産業廃棄物の発生量（事業所内での汚泥等の脱水減量を除く）

平成25年度における産業廃棄物の総発生量のうち、事業所内での汚泥等の脱水減量5,242千トンを除く発生量は6,391千トンであった。

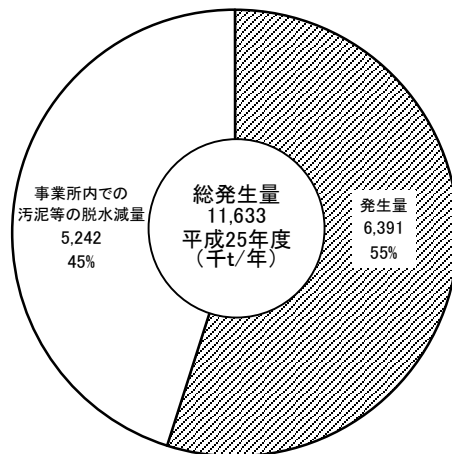


図3 総発生量と発生量

発生量 6,391 千トンを業種別にみると、建設業が 3,018 千トン(47%)で最も多く、次いで、製造業が 1,783 千トン(28%)、以下、農林漁業が 679 千トン(11%)、水道業が 627 千トン(10%)等となった。

種類別にみると、がれき類が 1,708 千トン(27%)で最も多く、次いで、汚泥が 1,622 千トン(25%)、以下、動物のふん尿が 679 千トン(11%)金属くずが 463 千トン(7%)等となった。

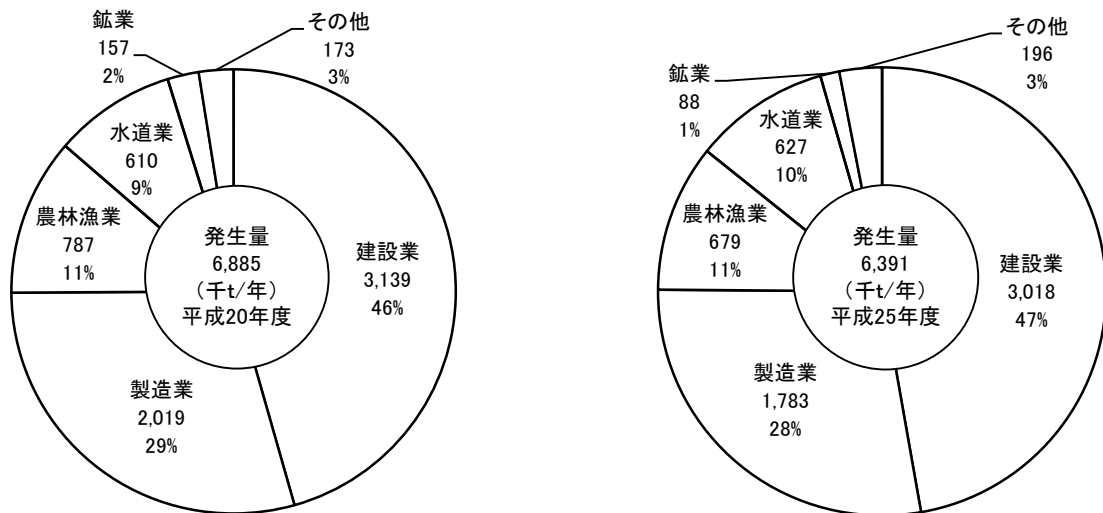


図 4 業種別の発生量 (平成 20 年度、平成 25 年度)

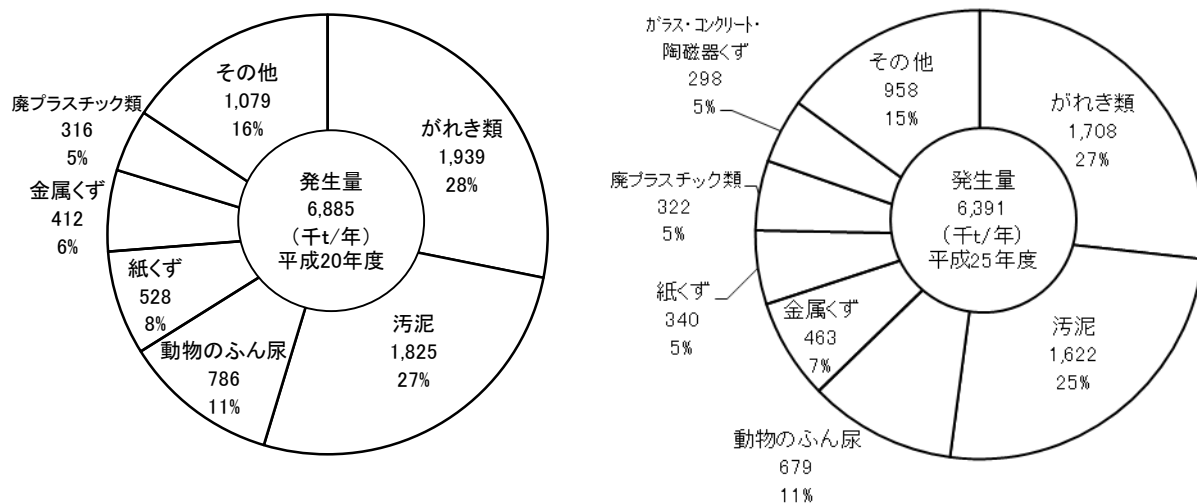


図 5 種類別の発生量 (平成 20 年度、平成 25 年度)

表3 業種別・種類別の発生量（平成25年度）

（単位：千t/年）

業種 種類	合計	A	B	C	D	E	F	G	H	I	K	L	M	N	P	R
		農 林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業	卸 ・ 小 売 業	物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 技 術 サ ー ビ ス 業	飲 食 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	医 療	サ ー ビ ス 業 （ 他 に 分 類 さ れ な い も の ）
合計	6,391 (100%)	679 (11%)		88 (1%)	3,018 (47%)	1,783 (28%)	627 (10%)	0 (0%)	26 (0%)	69 (1%)	3 (0%)	9 (0%)	24 (0%)	9 (0%)	39 (1%)	18 (0%)
燃え殻	6 (0%)				1	4	2		0	0						0
汚泥	1,622 (25%)	0		84	715	192	612		3	3	0	0	5	8	1	1
廃油	146 (2%)			1	39	75	0		1	10	0	4	12	0	0	3
廃酸	25 (0%)				0	23	0			1		0			1	
廃アルカリ	29 (0%)				0	25	0		0	1		0			1	1
廃プラスチック類	322 (5%)	0		2	44	217	0	0	13	21	1	2	6	2	6	8
紙くず	340 (5%)				11	329		0		0			0			
木くず	227 (4%)	0			177	43			4	3	1	0				0
繊維くず	5 (0%)				5	1										
動植物性残さ	123 (2%)				0	123										
動物系固形不要物																
ゴムくず	2 (0%)			0		2				0						
金属くず	463 (7%)	0		0	47	393	0		5	11	0	1	0	0	1	3
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	298 (5%)	0		0	163	125		0	0	6	0	0	0		2	1
鉱さい	154 (2%)				0	153	0			0						
がれき類	1,708 (27%)			1	1,679	15	13		0	1		1			0	
ばいじん	35 (1%)					35										
コンクリート固化物																
動物のふん尿	679 (11%)	679				0										
動物の死体																
混合廃棄物等	205 (3%)	0			138	27	0		0	11	0	1	0		28	

3) 地域別の総発生量等

総発生量を地域別にみると、東部地域が2,614千トン(22%)で最も多く、次いで、南西部地域が1,844千トン(16%)、以下、南部地域が1,747千トン(15%)、北部地域が1,334千トン(11%)、さいたま地域が1,027千トン(9%)、利根地域が1,009千トン(9%)、川越比企地域が997千トン(9%)、西部地域が625千トン(5%)、県央地域が360千トン(3%)、秩父地域が76千トン(1%)となっている。

発生量(事業所内での汚泥等の脱水減量を除く)を地域別にみると、北部地域が1,000千トン(16%)で最も多く、次いで、東部地域が867千トン(14%)、以下、さいたま地域が773千トン(12%)、南部地域が754千トン(12%)、川越比企地域が745千トン(12%)、利根地域が646千トン(10%)、西部地域が592千トン(9%)、南西部地域が585千トン(9%)、県央地域が355千トン(5%)、秩父地域が73千トン(1%)となっている。

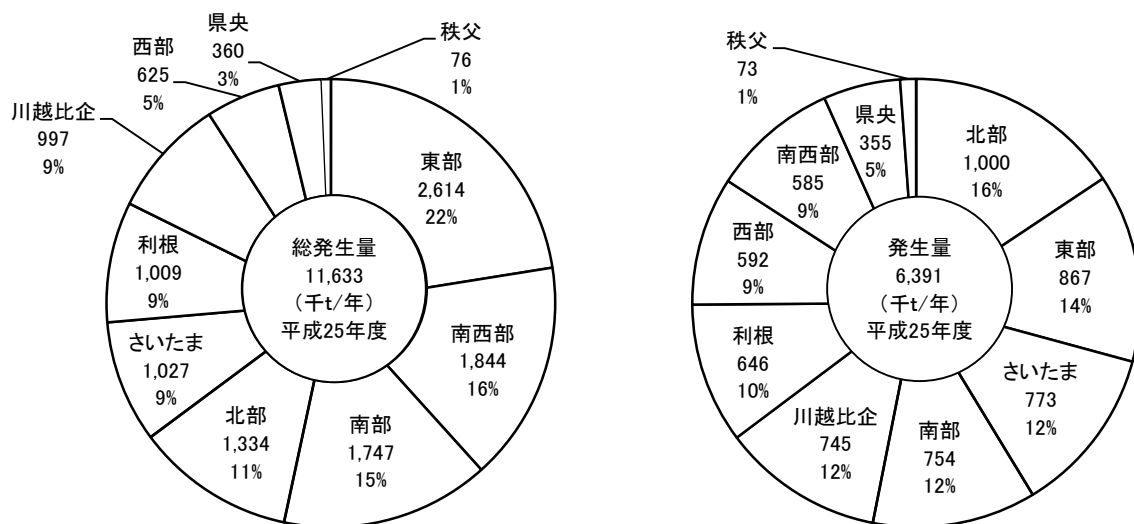


図6 地域別の総発生量及び発生量

第2節 産業廃棄物の処理状況

1) 処理の流れ

平成25年度の1年間に県内で発生した産業廃棄物の総発生量は11,633千トンとなっており、このうち、排出事業所内での汚泥等の脱水処理による減量を除く発生量は6,391千トンとなった。発生量6,391千トンのうち、有償物量が627千トン、排出量が5,764千トンであった。排出量5,764千トンのうち、5,463千トンが排出事業者又は産業廃棄物処理業者で中間処理が行われており、この中間処理により1,030千トン（発生量の16%）が減量した。

なお、排出事業所内での汚泥等の脱水処理による減量を含めた総減量化量は6,272千トンとなっていた。再資源化量は、有償物量627千トンと再生利用量4,531千トンを合わせた5,158千トンで、発生量の81%となっている。最終処分量は、直接最終処分量46千トンと中間処理後の最終処分量147千トンを合わせた194千トンで、発生量の3%であった。

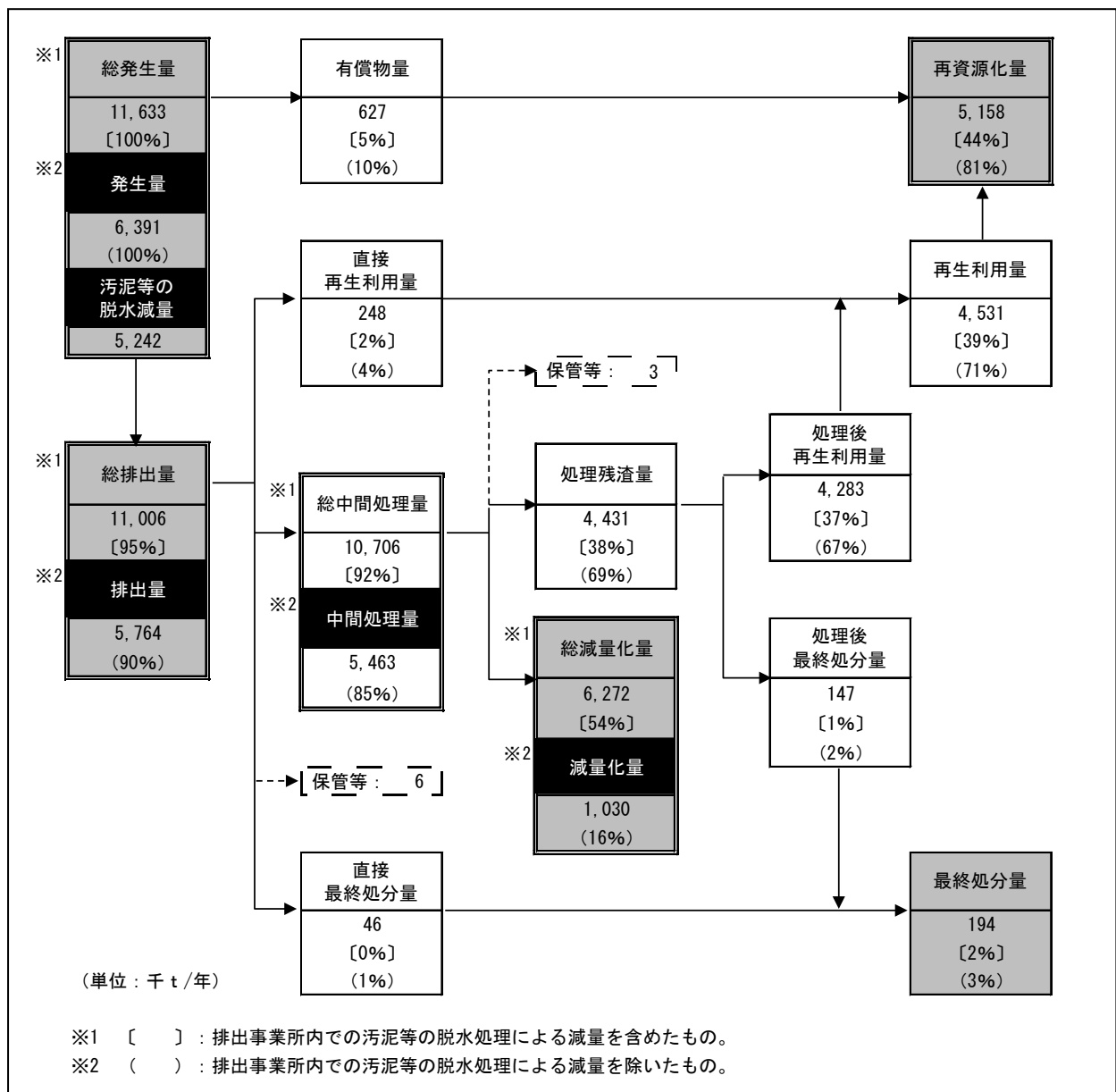


図7 処理フロー

2) 処理状況

(1) 種類別の処理状況

種類別に発生量に対する再資源化量、減量化量、最終処分量の割合をみると、図8（表4）のとおりである。また、平成20年度を同様にみると、図9（表5）のとおりである。

平成20年度と比較して、再資源化率は横ばい傾向であった。また、最終処分率は増加となった。

(2) 業種別の処理状況

業種別に発生量に対する再資源化量、減量化量、最終処分量の割合をみると、図10（表6）のとおりである。また、平成20年度を同様にみると、図11（表7）のとおりである。

平成20年度と比較して、建設業、製造業、運輸業等において再資源化率は増加したが、水道業、鉱業においては減少していた。最終処分率は水道業、情報通信業、生活関連サービス業等で増加となっていた。

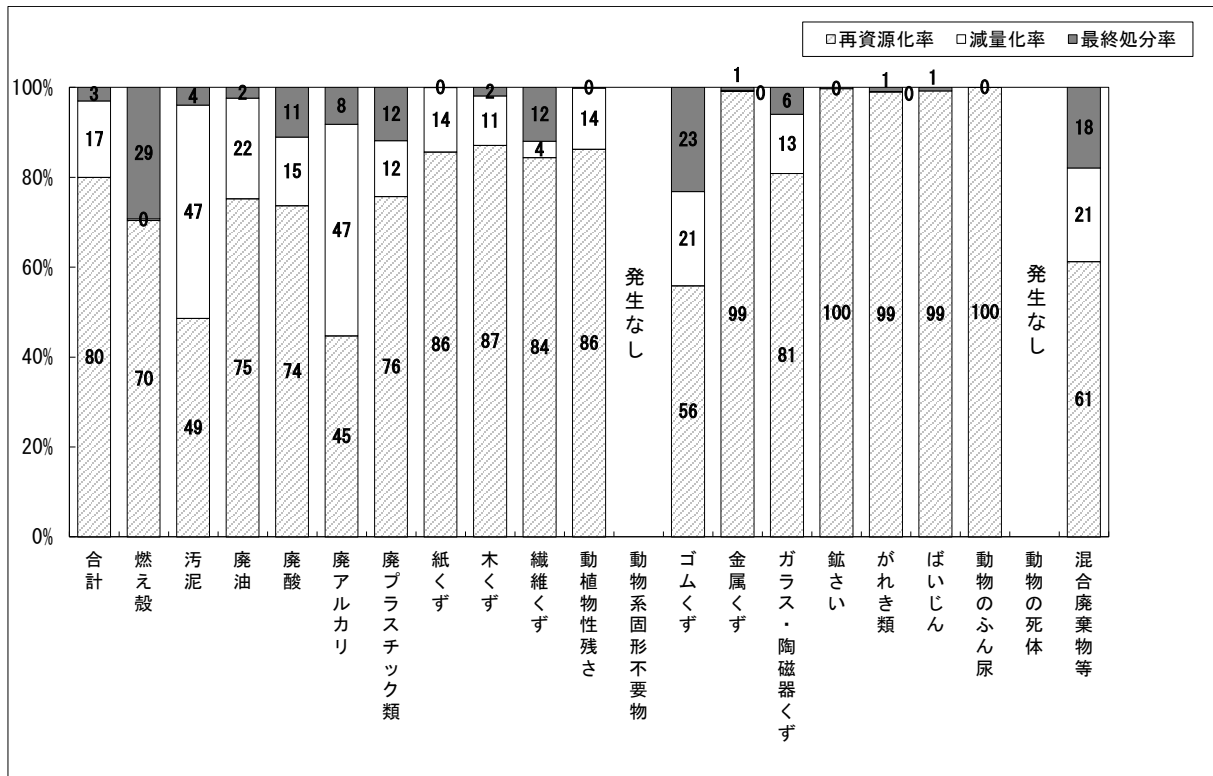


図 8 発生量に対する種類別の処理率（平成 25 年度）

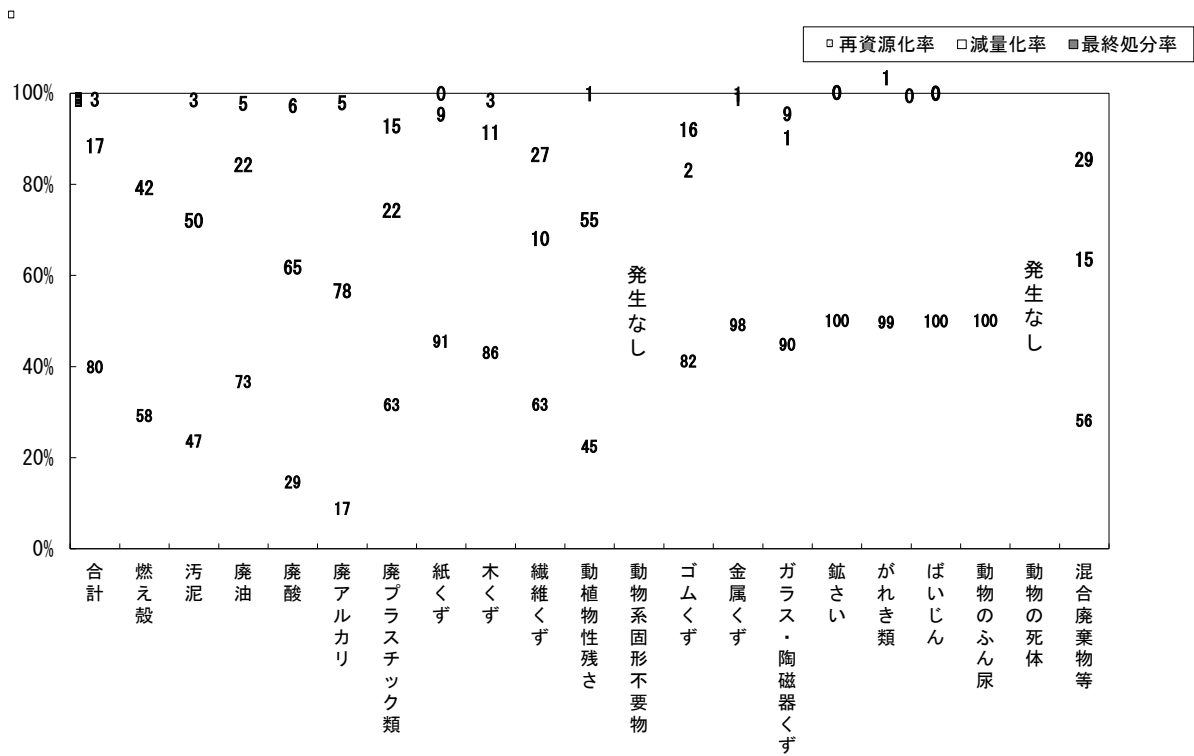


図 9 発生量に対する種類別の処理率（平成 20 年度）

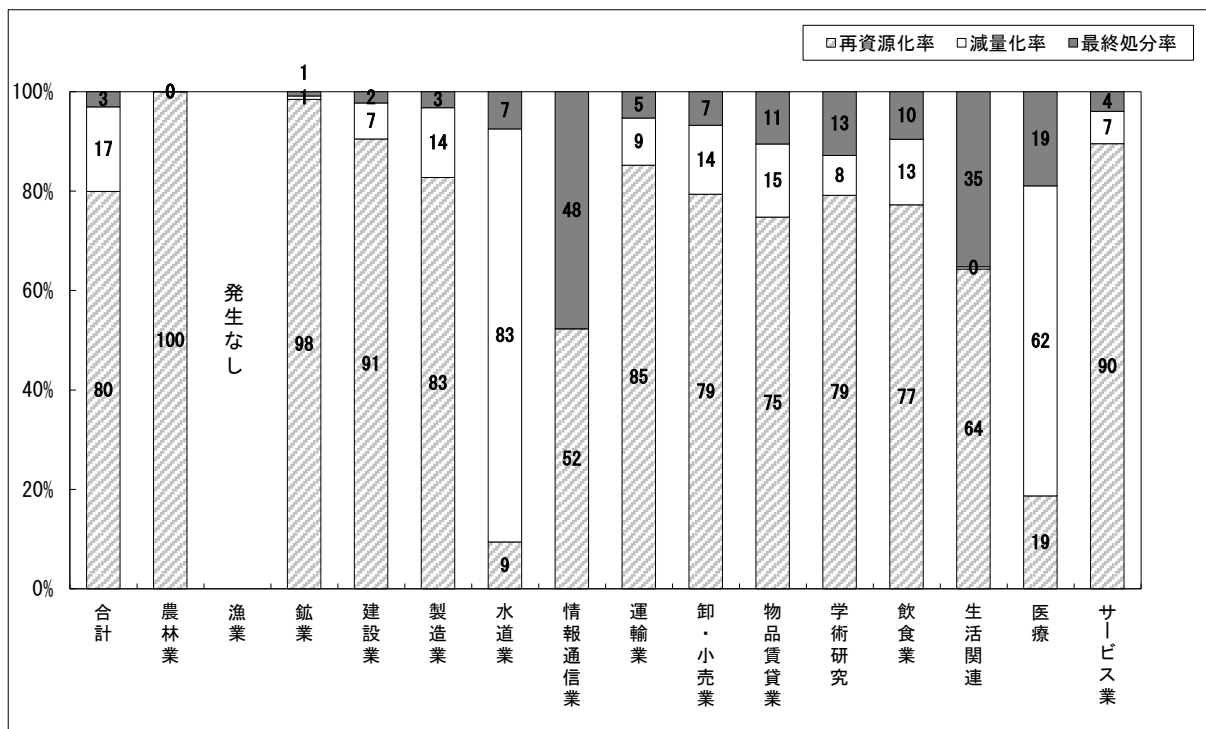


図 10 発生量に対する業種別の処理率（平成 25 年度）

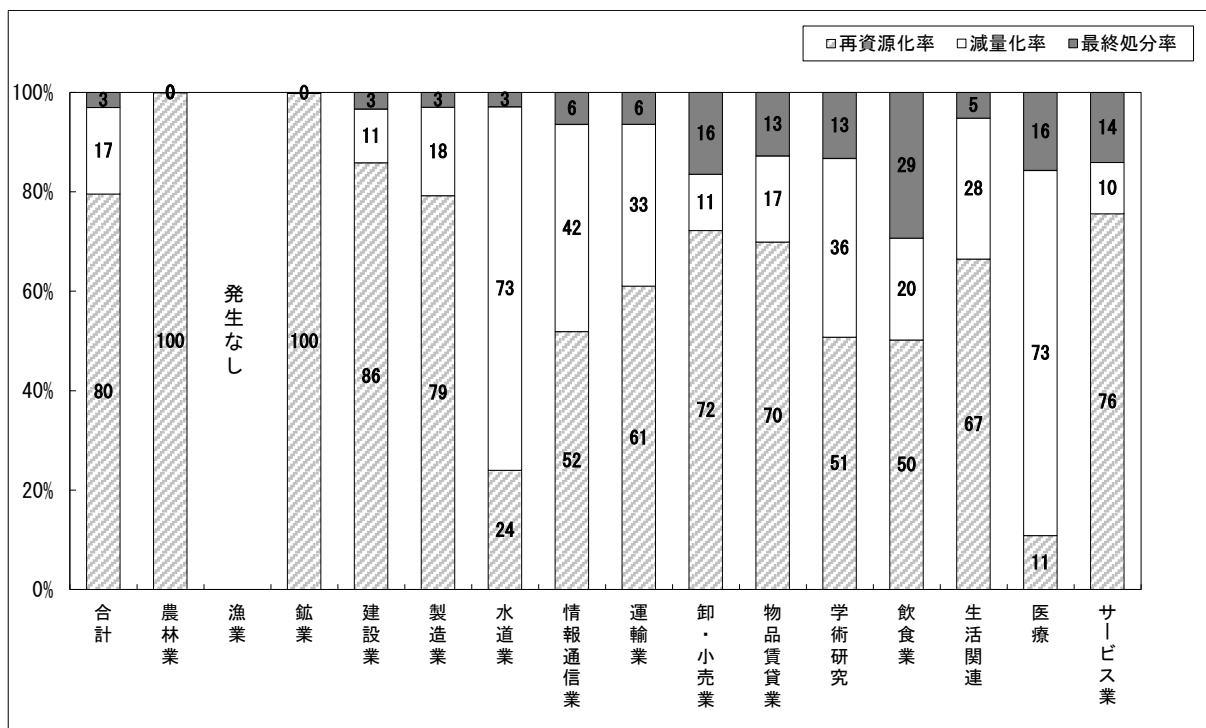


図 11 発生量に対する業種別の処理率（平成 20 年度）

表4 種類別の発生・処理状況（平成25年度）

（単位：千t/年）

	総発生量				排出量 ④ a-③	発生量					総減量化量 ⑩ ③+⑥	
	①	有償物量 ②	総排出量 a	うち 脱水減量 ③		⑤	減量化量 ⑥	再資源化量 ⑦ ②+b	うち 再生利用量 b	最終処分量 ⑧		その他量 ⑨
合計	11,633	627	11,006	5,242	5,764	6,391	1,030	5,158	4,531	194	9	6,272
燃え殻	6	0	6		6	6	0	4	4	2		0
汚泥	6,775	23	6,752	5,153	1,599	1,622	769	788	765	64	1	5,922
廃油	146	14	132		132	146	33	110	95	4	0	33
廃酸	25	4	21		21	25	4	18	14	3	1	4
廃アルカリ	29	0	29		29	29	13	12	12	2	2	13
廃プラスチック類	322	28	293		293	322	40	242	214	38	2	40
紙くず	340	202	138		138	340	49	290	88	0	2	49
木くず	227	1	226		226	227	25	197	196	4	1	25
繊維くず	5		5		5	5	0	5	5	1	0	0
動植物性残さ	127	31	97	4	92	123	17	106	75	0	0	21
動物系固形不要物												
ゴムくず	2		2		2	2	0	1	1	1	0	0
金属くず	463	300	163		163	463	1	458	158	3	0	1
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	298	1	298		298	298	39	241	240	18	1	39
鉱さい	154	0	154		154	154		153	153	0		
がれき類	1,709	16	1,693	0	1,693	1,708	1	1,691	1,675	16		1
ばいじん	35	6	29		29	35		35	29	0		
コンクリート固化物												
動物のふん尿	764		764	85	679	679		679	679	0		85
動物の死体												
混合廃棄物等	205	0	204		204	205	40	128	128	37	0	40

表5 業種別の発生・処理状況（平成25年度）

（単位：千t/年）

	総発生量				排出量 ④ a-③	発生量					総減量化量 ⑩ ③+⑥	
	①	有償物量 ②	総排出量 a	うち 脱水減量 ③		⑤	減量化量 ⑥	再資源化量 ⑦ ②+b	うち 再生利用量 b	最終処分量 ⑧		その他量 ⑨
合計	11,633	627	11,006	5,242	5,764	6,391	1,030	5,158	4,531	194	9	6,272
農林業	764		764	85	679	679	0	679	679	0	0	85
漁業												
鉱業	423	0	422	335	88	88	1	86	86	1	0	335
建設業	3,021	21	3,000	3	2,996	3,018	217	2,731	2,710	69	0	221
製造業	2,689	595	2,094	906	1,188	1,783	249	1,470	875	56	6	1,155
水道業	4,536	0	4,536	3,909	627	627	521	59	59	47	1	4,430
情報通信業	0		0		0	0		0	0	0		
運輸業	26	3	23	0	23	26	2	22	19	1	0	2
卸・小売業	69	6	63		63	69	9	54	48	5	1	9
物品賃貸業	3	0	3		3	3	0	2	2	0	0	0
学術研究、技術 サービス業	9	0	9		9	9	1	7	7	1	0	1
飲食業	27	0	26	3	23	24	3	18	18	2		6
生活関連サービス業	9		9		9	9	0	6	6	3		0
医療 サービス業	39	0	39	0	39	39	24	7	7	7	0	24
(他に分類されないもの)	19	1	18	1	17	18	1	16	15	1	0	2

表6 種類別の発生・処理状況（平成20年度）

（単位：千t/年）

	総発生量				排出量 ④ a-③	発生量						総減量化量 ⑩ ③+⑥
	①	有償物量 ②	総排出量 a	うち 脱水減量 ③		⑤ ②+④	減量化量 ⑥	再資源化量		最終処分量 ⑧	その他量 ⑨	
								⑦ ②+b	うち 再生利用量 b			
合計	13,278	503	12,775	6,434	6,341	6,844	994	5,618	5,115	232	0	7,428
燃え殻	1	0	1		1	1		0	0	1		
汚泥	7,831	9	7,822	6,082	1,740	1,749	637	1,058	1,050	54	0	6,719
廃油	90	6	84		84	90	31	58	53	1	0	31
廃酸	38	6	32		32	38	23	14	8	1	0	23
廃アルカリ	37	0	37		37	37	31	6	6	0	0	31
廃プラスチック類	289	27	261		261	289	83	162	134	44	0	83
紙くず	482	189	293		293	482	32	449	260	1		32
木くず	162	0	162		162	162	44	115	114	3	0	44
繊維くず	2		2		2	2	1	0	0	0		1
動植物性残さ	155	7	148		148	155	75	75	68	5		75
動物系固形不要物	2		2		2	2		2	2			
ゴムくず	2	0	2		2	2	0	2	2	0		0
金属くず	572	248	325		325	572	0	564	317	8	0	0
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	135	2	133		133	135	0	114	112	21		0
鉱さい	189	9	180		180	189	8	180	171	1		8
がれき類	2,133		2,133		2,133	2,133	2	2,096	2,096	36	0	2
ばいじん	20	0	20		20	20		20	20	1		
コンクリート固化物												
動物のふん尿	978		978	352	626	626	0	626	626	0		352
動物の死体	0		0		0	0	0	0	0	0		0
混合廃棄物等	158	0	158		158	158	27	77	76	55	0	27

表7 業種別の発生・処理状況（平成20年度）

（単位：千t/年）

	総発生量				排出量 ④ a-③	発生量						総減量化量 ⑩ ③+⑥
	①	有償物量 ②	総排出量 a	うち 脱水減量 ③		⑤ ②+④	減量化量 ⑥	再資源化量		最終処分量 ⑧	その他量 ⑨	
								⑦ ②+b	うち 再生利用量 b			
合計	13,278	503	12,775	6,434	6,341	6,844	994	5,618	5,115	232	0	7,428
農林漁業	982		982	352	630	630	0	627	627	2		352
鉱業	668	1	667	413	254	255	0	255	254	0		413
建設業	3,646	10	3,636	31	3,606	3,616	429	3,039	3,029	148	0	459
製造業	3,857	472	3,385	1,881	1,504	1,976	413	1,495	1,023	68	0	2,294
水道業	3,981		3,981	3,750	231	231	127	103	103	1	0	3,877
情報通信業	19	18	1		1	19	1	18	0	0		1
運輸業	17	1	16	0	16	17	3	12	11	1	0	4
卸小売業	71	0	70		70	71	6	58	57	7	0	6
物品賃貸業												
学術研究、技術サービス業												
飲食業												
生活関連サービス業												
医療	15	0	15		15	15	11	2	2	2	0	11
サービス業 (他に分類されないもの)	22	0	22		22	22	10	10	9	2	0	10

第3節 産業廃棄物の中間処理状況

県内で発生した産業廃棄物の総中間処理量は、10,706千トンとなっており、約6割が排出業者（自己）における中間処理、約4割が中間処理業者（委託）における中間処理となっていた。

（図12）

排出事業者における中間処理の内訳は、汚泥の脱水、動物のふん尿の処理等であった。

中間処理業者における中間処理の内訳は、がれき類の破碎、汚泥の脱水、焼成（セメント原料）等となった。

県内で発生した産業廃棄物の焼却総量は372千トン（＝84千トン＋288千トン）、焼成総量は291千トンとなっており、両者を合わせて663千トンが燃焼系の処理が行なわれていた。なお、前回調査時（平成20年度）の焼却・焼成総量は865千トンとなっており、202千トンの減少となった。

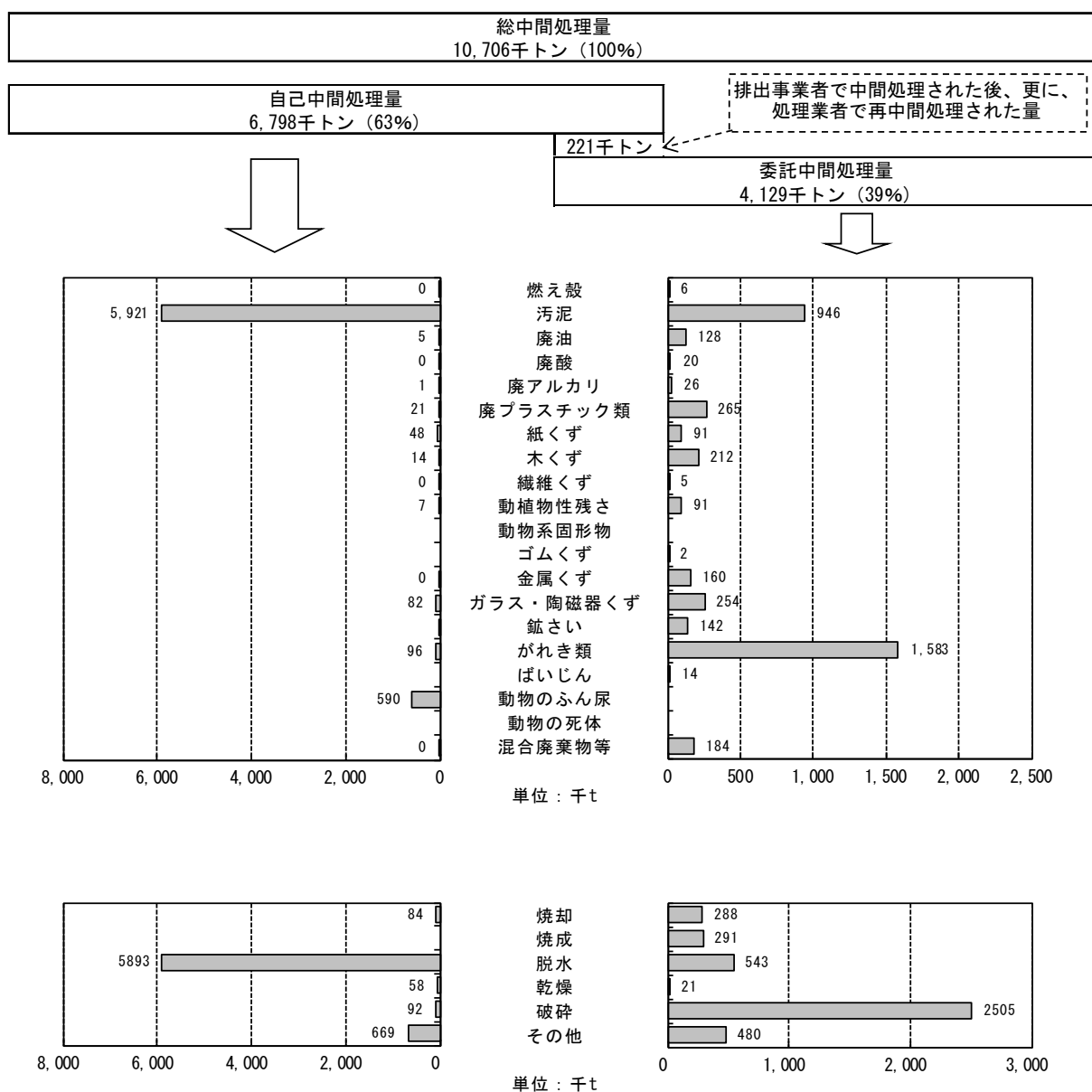


図12 中間処理状況

第4節 産業廃棄物の再資源化状況

再資源化量 5,158 千トンを種類別にみると、がれき類が 1,691 千トン（33%）で最も多く、次いで、汚泥が 768 千トン（15%）、動物のふん尿が 679 千トン（13%）、以下、金属くずが 458 千トン（9%）、紙くずが 289 千（6%）、廃プラスチック類が 242 千トン（5%）、ガラス・コンクリート・陶磁器くずが 241 千トン（5%）等となっていた。（図 13、表 8）

業種別にみると、建設業が 2,731 千トン（53%）で最も多く、次いで、製造業が 1,470 千トン（29%）、以下、農林業が 679 千トン（13%）となった。（図 14、表 8）

再資源化用途別にみると、建設材料が 2,504 千トン（49%）で最も多く、次いで、肥料・飼料・土壌改良材が 925 千トン（18%）、以下、鉄・非鉄等原料が 500 千トン（10%）、セメント原材料が 382 千トン（7%）、燃料が 316 千トン（6%）、パルプ・紙が 301 千トン（6%）等となっていた。（図 15、表 9）

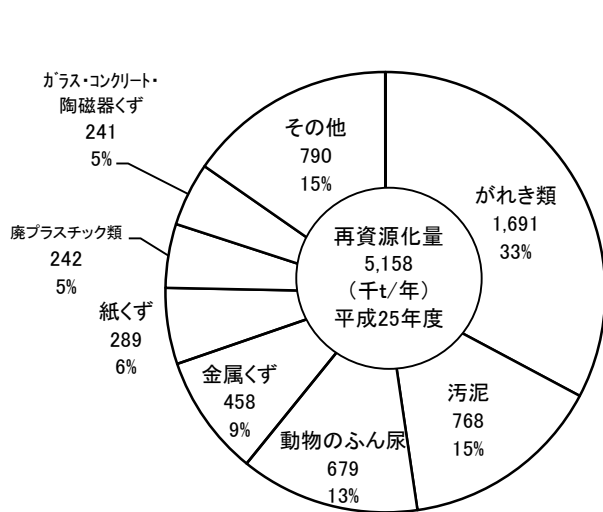


図 13 種類別の再資源化量

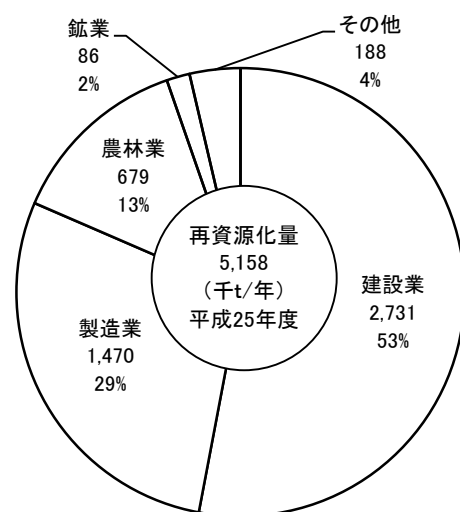


図 14 業種別の再資源化量

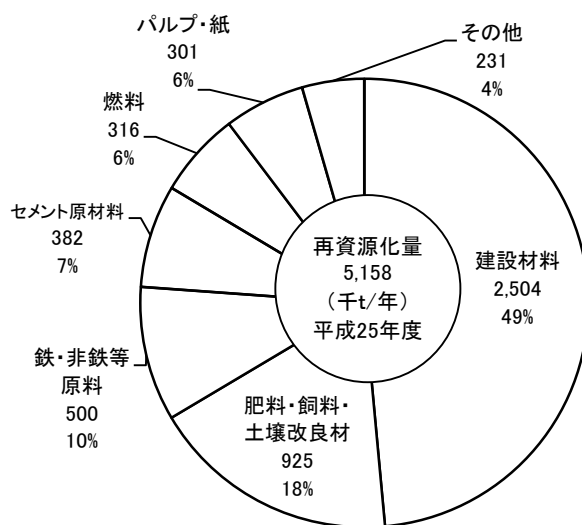


図 15 資源化用途別の再資源化量

表 8 種類別・業種別の再資源化量

(単位：千 t /年)

業 種 種 類	合 計	A	B	C	D	E	F	G	H	I	K	L	M	N	P	R
		農 林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業	卸 ・ 小 売 業	物 品 賃 貸 業	技 術 サ ー ビ ス 業	学 術 研 究 サ ー ビ ス 業	飲 食 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	医 療
合 計	5,158 (100%)	679 (13%)		86 (2%)	2,731 (53%)	1,470 (29%)	59 (1%)	0 (0%)	22 (0%)	54 (1%)	2 (0%)	7 (0%)	18 (0%)	6 (0%)	7 (0%)	16 (0%)
燃え殻	28 (1%)				1	27	0		0							0
汚泥	768 (15%)	0		84	506	121	47		1	1	0	0	2	6	0	0
廃油	109 (2%)			0	38	45	0		1	7	0	3	11	0	0	3
廃酸	18 (0%)					17				1		0				0
廃アルカリ	12 (0%)				0	9			0	1		0				1
廃プラスチック類	242 (5%)	0		2	37	160			11	17	1	1	5	0	2	7
紙くず	289 (6%)				10	278		0		0			0			
木くず	196 (4%)	0			165	24			4	3	0	0				0
繊維くず	5 (0%)				4	0										
動植物性残さ	106 (2%)				0	106										
動物系固形不要物																
ゴムくず	1 (0%)					1				0						
金属くず	458 (9%)	0		0	46	391	0		5	10	0	1	0	0	1	3
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	241 (5%)	0		0	153	81			0	5	0	0	0		0	1
鉱さい	153 (3%)				0	153				0						
がれき類	1,691 (33%)				1,663	15	12			1		0			0	
ばいじん	35 (1%)					35										
コンクリート固化物																
動物のふん尿	679 (13%)	679														
動物の死体																
混合廃棄物等	128 (2%)				109	7	0		0	9	0	0	0		3	

表 9 種類別・資源化用途別の再資源化量

(単位：千 t /年)

業 種 資源化用途	合 計	鉄・非鉄等原料	燃料	良肥料・飼料・土壌改	建設材料	パルプ・紙	ガラス原材料	プラスチック原材料	セメント原材料	再生油・再生溶剤	その他
		合 計	5,158 (100%)	500 (10%)	316 (6%)	925 (18%)	2,504 (49%)	301 (6%)	17 (0%)	101 (2%)	382 (7%)
燃え殻	28 (1%)			24	2				2		1
汚泥	768 (15%)			20	435				287		26
廃油	109 (2%)		73	13	0					20	3
廃酸	18 (0%)		0	6	1						10
廃アルカリ	12 (0%)		1		7				3		1
廃プラスチック類	242 (5%)	3	114	0	8			95	13		8
紙くず	289 (6%)		6		0	276					7
木くず	196 (4%)	2	81	22	63	21			1		7
繊維くず	5 (0%)		1	3	0				0		0
動植物性残さ	106 (2%)		0	105	0					0	0
動物系固形不要物											
ゴムくず	1 (0%)		1								
金属くず	458 (9%)	457			0						1
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	241 (5%)	6	12	3	189		16	0	11		5
鉱さい	153 (3%)			48	61				37		6
がれき類	1,691 (33%)				1,687				3		1
ばいじん	35 (1%)	11							19		5
コンクリート固化物											
動物のふん尿	679 (13%)				679						
動物の死体											
混合廃棄物等	128 (2%)	21	28	0	49	4	1	6	6	0	13

第5節 産業廃棄物の最終処分状況

最終処分量 194 千トン種類別にみると、汚泥が 53 千トン（27%）で最も多く、以下、廃プラスチック類が 38 千トン（19%）、混合廃棄物等が 37 千トン（19%）、ガラス・コンクリート・陶磁器くずが 18 千トン（9%）等であった。（図 16、表 10）

業種別にみると、建設業が 69 千トン（36%）で最も多く、次いで、製造業が 56 千トン（29%）、水道業が 47 千トン（24%）となっており、この3業種で全体の約 90%を占めていた。（図 17、表 10）

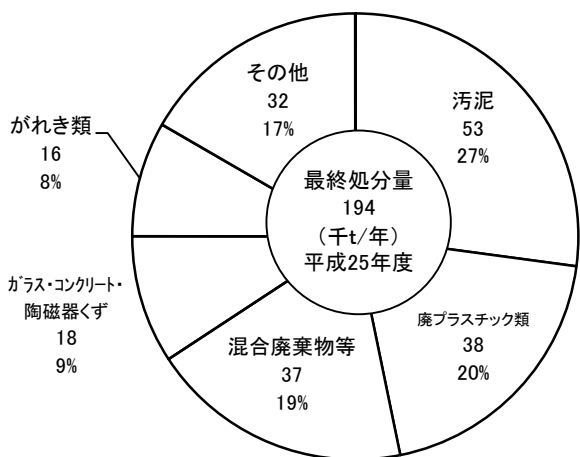


図 16 種類別の最終処分量

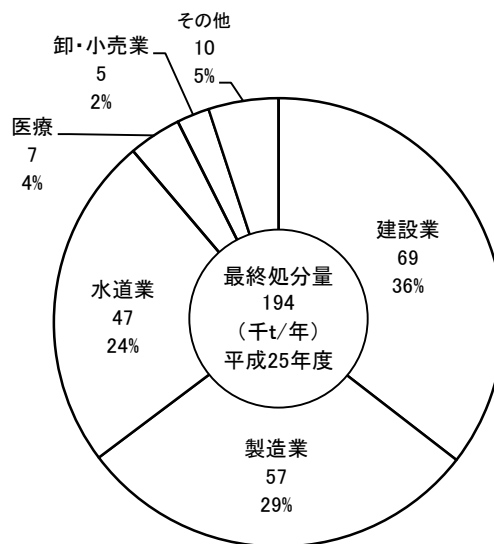


図 17 業種別の最終処分量

表 10 種類別・業種別の最終処分量

		(単位：千 t / 年)																
業種 種類	合計	A	B	C	D	E	F	G	H	I	K	L	M	N	P	R		
		農 林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業	卸 ・ 小 売 業	物 品 賃 貸 業	技 術 サ ー ビ ス 業	学 術 研 究	飲 食 業	サ ー ビ ス 業	生 活 関 連	医 療	分 類 さ れ な い も の 他 に
合計	194 (100%)	0 (0%)	1 (0%)	1 (0%)	69 (36%)	56 (29%)	47 (24%)	0 (0%)	1 (1%)	5 (2%)	0 (0%)	1 (1%)	2 (1%)	3 (2%)	7 (4%)	1 (0%)		
燃え殻	14 (7%)					13										0		
汚泥	53 (27%)				10	7	33		0	0		0	0	2	0	0		
廃油	4 (2%)				0	3	0		0	0		0	0		0	0		
廃酸	3 (1%)				0	3	0					0			0	0		
廃アルカリ	2 (1%)				0	2	0			0		0			0	0		
廃プラスチック類	38 (20%)	0		0	4	26	0	0	1	2	0	0	1	1	1	0		
紙くず	0 (0%)				0	0				0								
木くず	4 (2%)				1	3				0	0	0						
繊維くず	1 (0%)				0													
動植物性残さ	0 (0%)					0												
動物系固形不要物	0 (0%)																	
ゴムくず	1 (0%)			0														
金属くず	3 (2%)			0	0	2	0		0	0	0	0			0	0		
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	18 (9%)				10	6		0	0	1		0		1	0			
鉱さい	0 (0%)					0	0											
がれき類	16 (8%)			1	15	0	0			0		0						
ばいじん	0 (0%)					0												
コンクリート固化物	0 (0%)																	
動物のふん尿	0 (0%)					0												
動物の死体	0 (0%)																	
混合廃棄物等	37 (19%)	0			28	4	0			0	0	0			5			

第6節 産業廃棄物の移動状況

排出事業者に対するアンケート調査結果及び別途実施した産業廃棄物処理実績報告データから、埼玉県における産業廃棄物の移動状況を整理すると以下のとおりである。

1) 県内で発生した産業廃棄物の移動状況

平成25年度の1年間に県内で発生した産業廃棄物のうち、排出事業所内で行われた中間処理量は、6,798千トンとなっており、県内の中間処理業者へ委託された量は2,929千トンとなっている。中間処理目的のために排出事業所から県外へ直接搬出された量は1,200千トンとなっており、県外の最終処分場へ直接搬出された量は88千トンとなっている。

県外に直接搬出された中間処理量1,200千トンと県内の中間処理施設2,929千トンを経由（一部の廃棄物においては、再中間処理が行われている）して、県外で最終処分される総量は91千トンとなっている。なお、県内の中間処理施設から発生した処理残渣物が、県内の最終処分場で処分された量は1千トンとなっている。

2) 県外からの流入廃棄物

県外から中間処理目的で流入した産業廃棄物は、6,574千トンとなっており、最終処分目的に流入した廃棄物はなかった。なお、県内に中間処理目的で流入した産業廃棄物については、その処理残渣物が発生し、更に、県外へ搬出される廃棄物がある。

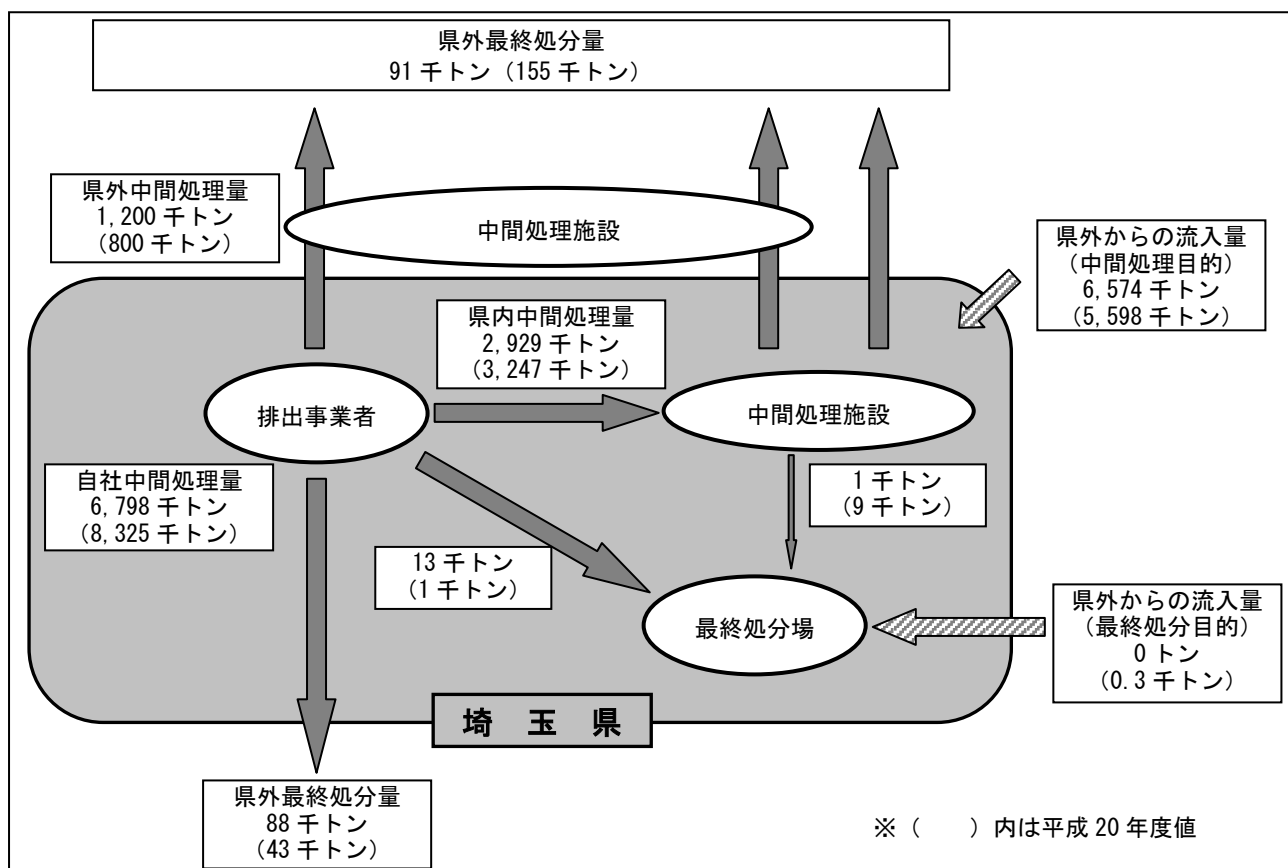


図18 産業廃棄物の移動状況

参考資料1 調査対象廃棄物の区分

	調査対象廃棄物 ()内は、細区分。
調査対象 廃棄物	<p><産業廃棄物></p> <p>(1) 燃え殻、(2) 汚泥（有機性汚泥、無機性汚泥）、 (3) 廃油（一般廃油、廃溶剤、その他）、(4) 廃酸、(5) 廃アルカリ、 (6) 廃プラスチック類（廃プラスチック、廃タイヤ）、(7) 紙くず、(8) 木くず、 (9) 繊維くず、(10) 動植物性残さ、(11) 動物系固形不要物、(12) ゴムくず、 (13) 金属くず、(14) ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず〔本報告書では、ガラス・コンクリート・陶磁器くずと略した〕 (15) 鉱さい、(16) がれき類（コンクリート片、廃アスファルト、その他）、 (17) ばいじん、(18) 産業廃棄物を処分するために処理したもの〔本報告書では、コンクリート固化物と略した〕 (19) 動物のふん尿、(20) 動物の死体、(21) 混合廃棄物等</p>
	<p><特別管理産業廃棄物></p> <p>(22) 廃油〔揮発油類、灯油類、軽油類〕、(23) 廃酸〔pHが2.0以下の廃酸〕、 (24) 廃アルカリ〔pHが12.5以上の廃アルカリ〕、(25) 感染性廃棄物、 (26) 廃石綿等、(27) 特定有害廃棄物〔廃石綿等を除く〕</p>
<p><本報告書におけるとりまとめ></p> <p>本報告書では、(1)～(20)の廃棄物区分を基本とした。従って、特別管理産業廃棄物については、廃棄物の性状から(1)～(20)の廃棄物区分で集計を行った。</p> <p>なお、(1)～(20)の種類に分類できない感染性廃棄物及び建設系混合廃棄物、その他の混合廃棄物は、(21)混合廃棄物等で集計を行った。</p>	

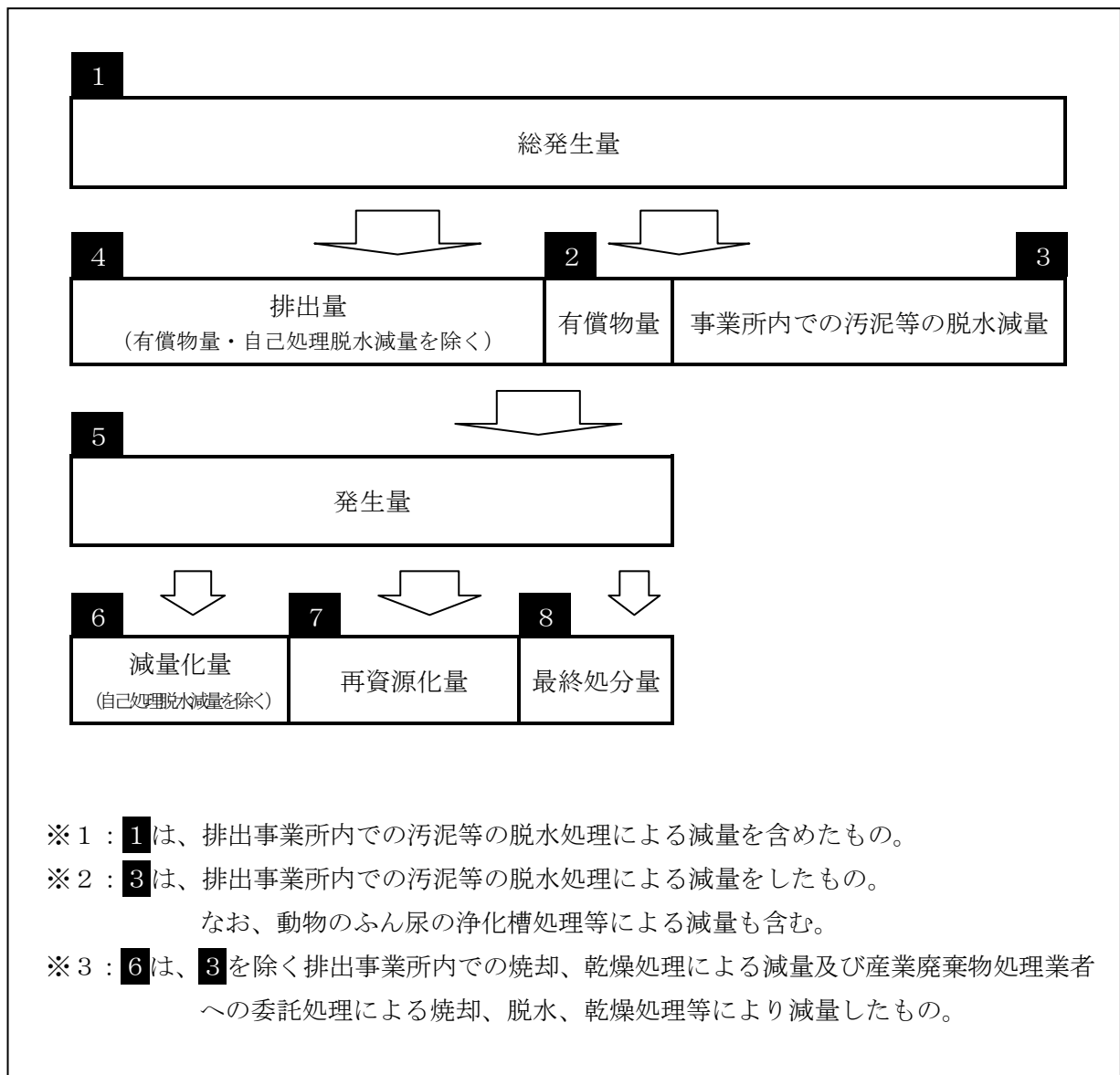
参考資料2 県内の地域区分

地域名	構成市町村
南部地域	川口市、蕨市、戸田市
南西部地域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
東部地域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
さいたま地域	さいたま市
県央地域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
川越比企地域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
西部地域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
利根地域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町
北部地域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町
秩父地域	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町

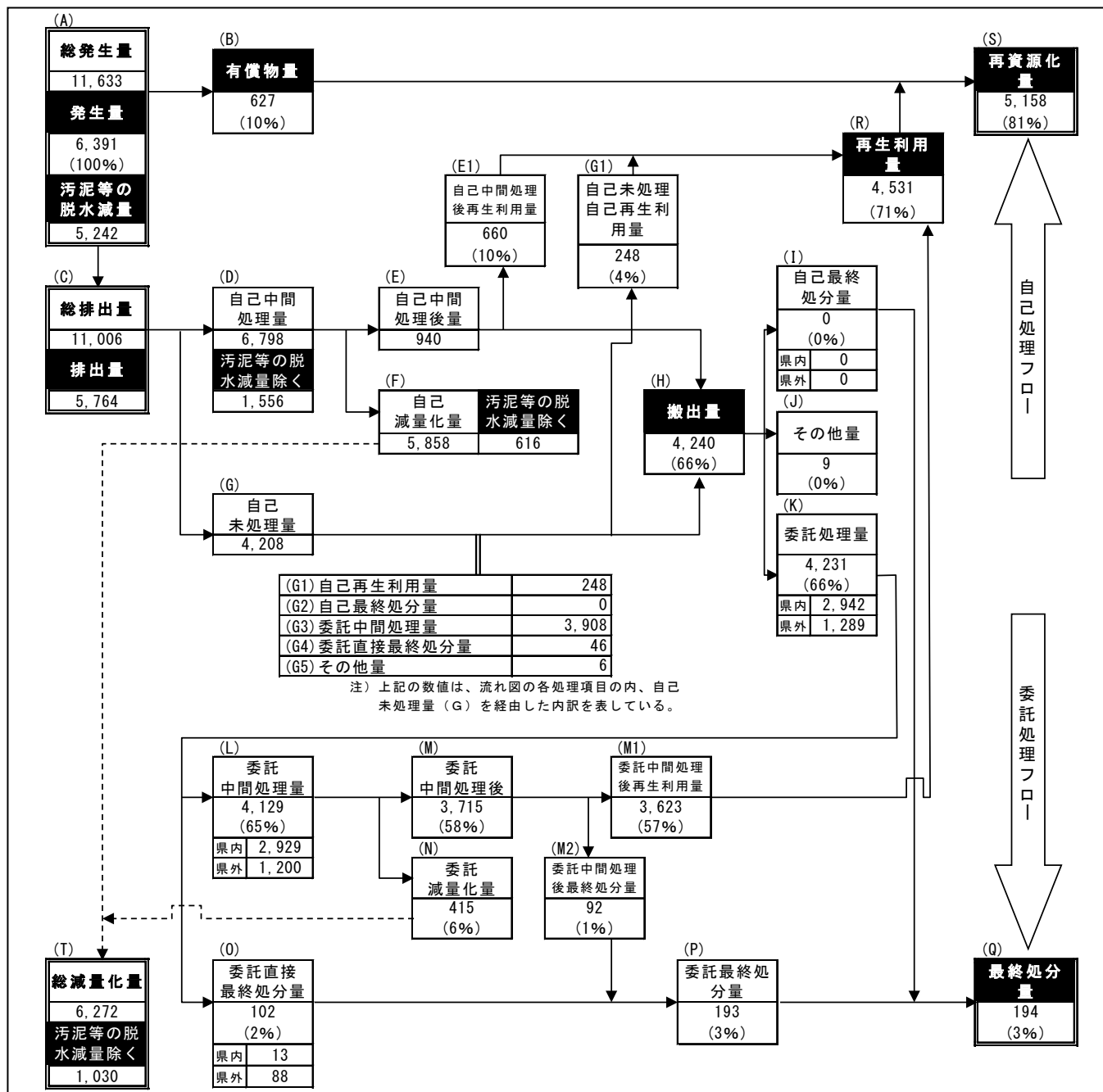
参考資料3 埼玉県における廃棄物の発生量の考え方

総発生量とは、事業所等で生じた産業廃棄物及び有償物量であり、その中には、総発生量の約5割を占める事業所内での汚泥等の脱水減量(脱水処理により発生する水分)が含まれている。このまま再資源化率を算出すると事業所等における取組が適正に反映されないことになる。

そこで、従来の手法に加え、事業所内での汚泥等の脱水減量³を除いた⁵以下に示す分類により整理することとした。



参考資料4 産業廃棄物の発生及び処理フロー



参考資料 6 種類別の発生量及び処理量 <平成25年度> - その1 -

	自己未処理量											搬出量		自己最終処分量										
	自己中間処理後量					自己未処理量					再生利 用量 (G1)	自己最 終処分 量 (G2)	委託中 間処理 量 (G3)	委託直 接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)	(H) (1+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外					
	汚泥等 の脱水 減量		自己中間 処理後 量		自己未 処理量		委託中 間処理 量		委託直 接最終 処分量											その他 量				
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(As) (A-Ts)	(D)	(Ts)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(J)	(K)		
合計	11,633	627	11,006	6,391	6,798	5,242	940	660	0	221	55	3	4,208	248	0	3,908	46	6	4,240	0	0	0	0	
燃え殻	6	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	
汚泥	6,775	23	6,752	1,622	5,921	5,153	258	84	0	129	44	0	830	10	0	817	4	0	994	0	0	0	0	0
有機性汚泥	4,734	1	4,733	638	4,662	4,096	71	0	0	58	12	0	71	0	0	69	2	0	142	0	0	0	0	0
無機性汚泥	2,041	22	2,019	984	1,260	1,057	187	84	0	71	32	0	759	10	0	748	2	0	853	0	0	0	0	0
廃油	146	14	132	146	5	3	3	0	0	3	0	0	127	0	0	126	1	0	129	0	0	0	0	0
一般廃油	132	13	120	132	5	3	3	0	0	3	0	0	115	0	0	114	1	0	118	0	0	0	0	0
廃溶剤	7	2	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0
固形油	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
油でい	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
油付着物類	5	5	5	5	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0
廃酸	25	4	21	25	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	20	0	0	1	21	0	0	0	0	0
廃アルカリ	29	0	29	29	1	1	1	0	0	0	0	0	28	0	26	0	2	2	28	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	322	28	293	322	21	14	14	0	0	2	11	1	272	1	0	262	8	1	285	0	0	0	0	0
廃プラスチック	306	28	278	306	21	14	14	0	0	2	11	1	257	1	0	247	8	1	270	0	0	0	0	0
廃タイヤ	15	0	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	15	0	0	0	15	0	0	0	0	0
紙くず	340	202	138	340	48	3	3	0	0	2	2	2	90	0	89	0	0	0	93	0	0	0	0	0
木くず	227	1	226	227	14	3	3	0	0	2	0	0	213	0	209	2	1	215	0	0	0	0	0	0
繊維くず	5	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0
動植物性残さ	127	31	97	123	7	4	3	1	2	2	0	0	90	1	89	0	0	0	91	0	0	0	0	0
動物系固形不要物																								
ゴムくず	2		2	2									2		2	0	0	0	2					
金属くず	463	300	163	463	0	0	0	0	0	0	0	0	162	1	160	1	0	162						
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	298	1	298	298	82	43	43	0	0	43	0	0	216	1	211	3	1	257						
紐さい	154	0	154	154	12	12	12	11	0	0	0	0	142		142			142						
がれき類	1,709	16	1,693	1,708	96	0	96	57	38	38	0	0	1,597	45	1,545	7	0	1,591						
コンクリート片	1,163	1	1,152	1,153	75	0	75	54	21	21	0	0	1,077	10	1,060	7	0	1,088						
廃スチロール	536	15	521	536	21	21	21	3	18	18	0	0	500	32	468	0	0	485						
その他	20	0	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	19	2	17	0	0	18						
ばいじん	35	6	29	35									29	15	14	0	0	14						
コンクリート固化物													174	174	0	0	0	0	0					
動物のふん尿	764		764	679	590	85	505	505											0					
動物の死体																								
混合廃棄物等	205	0	204	205	0	0	0	0	0	0	0	0	204	0	184	20	0	204						
感染性廃棄物	38	0	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	36	1	0	37						
混合廃棄物等	167	0	167	167	0	0	0	0	0	0	0	0	167	0	148	19	0	167						

(単位：千 t / 年)

参考資料 6 種類別の発生量及び処理量 <平成25年度> - その2 -

(単位：千t/年)

	委託処理量		委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量 (R) (E+G+H)	最終処分量			その他 量 (J) (E5+G5) (B+R)	再資源 化量 (S) (B+R)					
	委託 処理量 (K) (O-L)	委託 直接最終処分量 (O)	委託主体の内訳		委託主体の内訳		(M)	委託処理後の内訳		(R) (E+G+H)		処理主体の内訳									
			処理先地域の内訳		処理先地域の内訳			再生利 用 量 (M1)	最終処 分量 (M2)			(O) (I+O+M2)	事業 者 (01)	自治 体 (02)			処理 業 者 (03)				
			自治 体	県 外	自治 体	県 外			県 内									県 外			
合計	4,231	102	91	11	13	88	4,129	4,110	19	2,929	1,200	3,715	3,623	92	4,531	194	0	14	180	9	5,158
燃え殻	6	0	0	0	0	0	6	6	0	3	3	6	4	2	4	2	0	0	2	0	4
汚泥	994	48	48	0	0	48	946	937	9	667	278	688	671	16	765	64	0	0	64	1	788
有機性汚泥	141	14	14	0	0	14	127	118	9	93	34	81	78	3	78	17	0	0	17	1	79
無機性汚泥	853	34	34	0	0	34	819	819	0	575	244	607	593	14	687	47	0	0	47	0	709
廃油	129	1	1	0	0	1	128	128	0	78	50	98	95	3	95	4	0	0	4	0	110
一般廃油	117	1	1	1	1	1	117	117	0	74	43	93	90	3	90	3	0	0	3	0	103
廃溶剤	5	0	0	0	0	0	5	5	0	2	3	3	3	0	3	0	0	0	0	0	5
固形油	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
油でい	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1
油付着物類	5	0	0	0	0	0	5	5	1	1	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1
廃酸	21	0	0	0	0	0	20	20	0	3	17	17	14	2	14	3	0	0	3	1	18
廃アルカリ	26	0	0	0	0	0	26	26	0	9	17	13	11	2	12	2	0	0	2	2	12
廃プラスチック類	284	19	8	11	12	7	265	264	1	155	110	232	213	19	214	38	0	12	26	2	242
廃プラスチック	268	19	8	11	12	7	249	249	1	144	105	218	199	19	200	38	0	12	26	2	229
廃タイヤ	15	0	0	0	0	0	15	15	0	10	5	14	13	0	13	0	0	0	0	0	14
紙くず	91	0	0	0	0	0	91	91	0	56	35	88	88	0	88	0	0	0	0	2	290
木くず	214	2	2	0	0	2	212	211	0	138	74	198	195	2	196	4	0	0	4	1	197
繊維くず	5	0	0	0	0	0	5	5	1	5	1	5	5	1	5	1	0	1	0	0	5
動植物性残さ	91	0	0	0	0	0	91	90	1	28	63	74	74	0	75	0	0	0	0	0	106
動物系固形不要物																					
ゴムくず	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1
金属くず	161	1	1	0	0	1	160	160	0	105	55	159	157	2	158	3	0	0	3	0	458
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	257	3	2	0	0	2	254	254	0	176	78	254	239	15	240	18	0	0	18	1	241
鉱さい	142	0	0	0	0	0	142	142	0	44	98	142	142	0	153	0	0	0	0	0	153
がれき類	1,591	7	7	0	0	7	1,583	1,583	0	1,386	197	1,582	1,573	9	1,675	16	0	0	16	0	1,691
コンクリート片	1,088	7	7	0	0	7	1,081	1,081	0	946	135	1,079	1,073	6	1,137	13	0	0	13	0	1,138
廃アスファルト	485	0	0	0	0	0	485	485	0	430	56	485	485	1	520	1	0	0	1	0	535
その他	18	0	0	0	0	0	17	17	0	11	6	17	16	1	18	2	0	0	2	0	18
ばいじん	14	0	0	0	0	0	14	14	0	0	13	14	13	0	29	0	0	0	0	0	35
コンクリート固化物																					
動物のふん尿	0						0	0	0	0	0	0	0	0	679	0			0		679
動物の死体																					
混合廃棄物等	204	20	20	0	0	19	184	177	7	76	108	145	128	17	128	37	0	1	37	0	128
感染性廃棄物	37	1	1			1	36	29	7	14	23	7	3	4	3	5	0	1	5	0	3
混合廃棄物等	167	19	19	0	0	18	148	148	0	63	86	137	125	13	125	31	0	0	32	0	125

参考資料 7 業種別の発生量及び処理量 <平成25年度> -その1-

業種	自己中間処理量										自己未処理量					搬出量			自己最終処分量				
	発生量 (A) (B+C)	有償 物量 (B)	総排 出量 (C) (D+G)	発生量 (As) (A-Ts)	自己中間処理後量		自己中間処理後の処理内訳			自己未処理の処理内訳			(H) (I+K+J)	(1) (E2+G2)	県内	県外							
					汚泥等 の脱水 減量 (D)	汚泥等 の脱水 減量 (Ts)	再生利 用 量 (E1)	自己最 終処 分量 (E2)	委託中 間処理 量 (E3)	委託直 接最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生利 用 量 (G1)					自己最 終処 分量 (G2)	委託中 間処理 量 (G3)	委託直 接最終 処分量 (G4)	その他 量 (G5)			
合計	11,633	627	11,006	6,391	6,798	5,242	940	680	0	221	55	3	4,208	248	0	3,908	46	6	4,240	0	0	0	
A農林業	764		764	679	590	85	505	505					174	174		0			0				
B漁業	423	0	422	88	418	335	84	84					4	4		4			4				
C鉱業	3,021	21	3,000	3,018	1,03	4	99	58	0	41	0	0	2,897	45	0	2,824	27	0	2,893	0	0		
D建設業	2,889	595	2,094	1,783	1,163	906	153	14	0	125	11	3	931	28	0	887	12	4	1,042	0	0		
E製造業	239	33	207	186	69	54	15	1	0	14	0		138	1	0	137	0	0	149	0	0		
食品	34	6	28	30	7	5	2	2	0	2			21		0	21	0	0	24				
繊維	7	0	7	7	0	0	0	0	0	0			7		0	7	0	0	7				
木材	9	0	8	9	5	0	1	0	0	1			3		0	3	0	0	4				
家具	15	0	15	15	3	0	0	0	0	0			12		0	11	0	0	12				
紙	862	43	819	155	754	707	29	0	20	20			65		0	64	0	0	94				
印刷	291	167	125	291	34	0	2	0	0	0			90		0	89	1	0	92				
化学	150	18	132	101	57	49	7	0	0	7			75		0	75	0	0	65				
石油	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0			2		0	2	0	0	2				
プラスチック	57	17	41	57	0	0	0	0	0	0			40		0	37	0	0	41				
ゴム	16	1	15	15	2	1	0	0	0	0			14		0	13	0	0	14				
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0	0	0	0	0				
窯業・土石	284	14	219	191	144	43	62	0	0	62			75		0	47	0	0	110				
鉄鋼	234	40	194	234	23	0	23	11	0	0			171		0	171	0	0	182				
非鉄金属	33	14	19	33	23	0	0	0	0	0			19		0	18	0	0	19				
金属	116	76	40	115	1	1	0	0	0	0			39		0	38	0	0	39				
はん用機器	33	7	26	31	5	2	2	0	0	2			21		0	20	0	0	22				
生産用機器	12	6	6	12	0	0	0	0	0	0			6		0	6	0	0	6				
業務用機器	9	2	7	9	0	0	0	0	0	0			7		0	6	0	0	6				
電子部品	62	32	31	49	16	14	2	0	0	2			15		0	14	0	0	17				
電気機器	6	2	4	5	0	0	0	0	0	0			4		0	3	0	0	4				
情報通信機器	11	2	9	11	0	0	0	0	0	0			9		0	9	0	0	9				
輸送用機器	245	113	132	233	24	13	7	1	5	5			108		0	107	0	0	114				
その他	11	3	8	10	0	0	0	0	0	0			8		0	8	0	0	8				
F水道業	4,536	0	4,536	627	4,517	3,909	96	0	0	52	44		19		0	19	0	0	116				
上水道	733	0	733	106	718	627	75	0	0	42	32		15		0	15	0	0	89				
下水道	3,804		3,804	521	3,799	3,282	22			10	12		4		0	4	0	0	26				
G情報通信業	0		0	0									0		0	0	0	0	0				
H運輸業	26	3	23	26	0	0	0	0	0	0			23		0	22	1	0	23				
鉄道業	5	3	3	5	0	0	0	0	0	0			3		0	2	0	0	3				
道路旅客運送業	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0			4		0	4	0	0	4				
道路貨物運送業	16	0	16	16	0	0	0	0	0	0			16		0	15	0	0	16				
I卸・小売業	69	6	63	69	1	0	1	0	0	1			62		0	60	1	1	63				
K物品賃貸業	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0			3		0	3	0	0	3				
L学術研究、技術サービス業	9	0	9	9	0	0	0	0	0	0			8		0	8	1	0	9				
M飲食業	27	0	26	24	4	3	1			1			23		0	22	1	0	23				
N生活関連サービス業	9		9	9									9		0	6	3	0	9				
P医療	39	0	39	39	0	0	0	0	0	0			39		0	37	1	0	39				
Rサービス業(他に分類されないもの)	19	1	18	18	1	1	0	0	0	0			17		0	17	0	0	17				

参考資料7 業種別の発生量及び処理量 <平成25年度> -その2-

	委託処理量の内訳													委託中間処理量				委託中間処理後量				最終処分量			再生 利用量 (R) (E1+G1+M1)	その他 量 (J) (E5+G5) (S) (B+R)	再資源 化量
	委託 処理量 (K) (O+L)			委託直接最終処分量			委託主体の内訳			委託主体の内訳			委託主体の内訳			委託主体の内訳			(O) (1+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)					
	(K)	(O)	(L)	処理 業者	自治体	県内	県外	処理 業者	自治体	県内	県外	処理 業者	自治体	県内	県外	(M)	再生利 用量 (M1)	最終処 分量 (M2)									
																							(O+L)	(O)			
合計	4,231	102	91	11	13	88	4,129	4,110	19	2,929	1,200	3,716	3,623	92	4,531	194	0	180	9	5,158							
A農林業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	679							
B漁業	4	0	0	0	0	0	4	4	1	3	3	3	3	1	86	1	0	1	0	86							
C鉱業	2,893	27	27	0	1	26	2,866	2,865	0	2,266	600	2,649	2,607	41	2,710	69	0	68	0	2,731							
D建設業	1,035	23	12	11	11	12	1,012	1,001	10	501	511	867	833	33	875	57	0	43	6	1,470							
E製造業	148	0	0	0	0	0	148	140	8	67	80	106	103	2	105	3	0	2	0	138							
飲料・飼料	24	0	0	0	0	0	23	23	0	14	9	21	20	1	20	0	0	0	0	26							
繊維	7	0	0	0	0	0	7	6	1	4	3	5	3	2	3	0	0	2	0	3							
木材	3	0	0	0	0	0	3	3	0	1	2	3	3	0	3	0	0	0	0	3							
家具	12	1	1	1	0	1	11	11	0	7	4	8	8	1	8	0	0	2	0	8							
パルプ・紙	94	1	1	0	1	1	93	92	1	54	39	84	82	2	82	2	1	2	0	125							
印刷	90	1	1	0	1	1	89	89	0	51	39	83	79	3	79	4	0	4	2	246							
化学	65	0	0	0	0	0	65	65	0	34	31	44	42	2	42	3	0	2	0	60							
石油・石炭	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	2	1	1	1	0	0	1	0	1							
プラスチック	39	2	2	0	2	2	37	37	0	18	18	33	31	2	31	4	0	4	2	48							
ゴム	14	1	1	1	1	1	13	13	0	5	8	12	12	0	12	1	0	0	0	12							
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
窯業・土石	110	1	1	0	0	1	109	109	0	74	35	108	103	5	130	5	0	5	1	145							
鉄鋼	182	11	0	11	11	11	171	171	0	56	115	160	158	2	169	13	0	0	0	210							
非鉄金属	19	1	1	1	1	1	18	18	0	6	13	17	16	1	16	2	0	2	0	30							
金属	39	1	1	0	0	1	38	38	0	19	19	25	22	3	22	4	0	4	0	98							
はん用機器	22	0	0	0	0	0	22	22	0	15	7	20	20	0	20	1	0	1	0	27							
生産用機器	6	0	0	0	0	0	6	6	0	4	2	4	4	0	4	0	0	0	0	10							
業務用機器	6	0	0	0	0	0	6	6	0	5	1	5	4	1	5	1	0	1	0	6							
電子部品	17	1	1	1	1	1	17	17	0	4	4	12	11	1	11	2	0	2	0	43							
電気機器	4	0	0	0	0	0	3	3	0	2	1	3	2	0	2	0	0	0	0	4							
情報通信機器	9	0	0	0	0	0	9	9	0	8	1	8	8	0	8	0	0	0	0	10							
輸送用機器	113	1	1	0	0	1	112	112	0	43	69	95	92	3	93	4	0	4	1	206							
その他	8	0	0	0	0	0	8	8	0	5	3	5	4	1	4	1	0	0	0	7							
F水運業	116	44	44	0	44	44	71	63	8	68	3	62	59	3	59	47	0	47	0	59							
上水道・工業用水道	89	32	32	0	32	32	57	57	0	57	0	57	55	2	55	34	0	34	0	55							
下水道	26	12	12	0	12	12	14	6	8	11	3	5	4	0	4	12	0	12	0	4							
G情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
H運輸業	22	1	1	0	0	0	22	22	0	13	9	19	19	1	19	1	0	1	0	22							
鉄道業	3	0	0	0	0	0	2	2	1	1	1	2	2	0	2	0	0	0	0	4							
道路旅客運送業	4	0	0	0	0	0	4	4	0	2	2	4	4	0	4	0	0	0	0	4							
道路貨物運送業	16	0	0	0	0	0	15	15	0	10	5	13	13	1	13	1	0	0	0	13							
I卸・小売業	62	1	1	1	1	1	61	61	0	32	29	52	48	4	48	5	1	5	1	54							
K物品賃貸業	3	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1	2	2	0	2	0	0	0	0	2							
L学術研究、技術サービス業	9	1	1	0	0	0	8	8	0	2	6	7	7	1	7	1	0	1	0	7							
M飲食業	23	1	1	1	1	1	23	23	4	19	4	20	18	2	18	2	2	2	2	18							
N生活関連サービス業	9	3	3	3	3	3	6	6	0	6	0	6	6	0	6	3	0	3	0	6							
P医療	38	1	1	1	1	1	37	37	0	14	23	13	7	6	7	7	0	7	0	7							
Rサービス業(他に分類されないもの)	17	0	0	0	0	0	17	17	0	5	11	16	15	1	15	1	0	1	0	16							

平成 26 年度埼玉県産業廃棄物実態調査報告書
概要版
(平成 25 年度実績)

平成 27 年 3 月発行

埼玉県環境部資源循環推進課
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1
TEL 048-830-3108
FAX 048-830-4791



埼玉県のマスコット「コバトン」

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。